

【次世代】施策の柱39

①予算事業名	企画財政事務運営事業	予算科目	2-1-4-2		基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」		総合計画実現に向けて	
②担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	H30~H32		基本計画の該当箇所		住民にわかりやすく効率的な行 財政運営 施策の柱39-1	
③事業内容	①事業内容としては、企画財政課に係る事務事業の遂行に必要な経費全般となっている。また、人件費や扶助費等の義務的経費の抑制に取り組み経常収支比率70%代を目指す。②収納対策会議を立ち上げ自主財源の確保に努める。							
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	財源内訳	(a) 国庫						
		(b) 県費						
		(c) 地方債等						
		(d) 一般財源	5,600,000	5,208,000	14,756,000	10,000,000	10,000,000	
	計(a~d)	5,600,000	5,208,000	14,756,000	10,000,000	10,000,000		
	特定財源名	(a)または(b)の名称			(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容						
	平成30年度	・総務課とも連携しながら定員管理計画や適正な人員配置をすることで抑制を図る。・収納対策会議を開催して、各課の問題解決を図る。また、会議を年間2回開催する。						
	平成31年度	・総務課とも連携しながら定員管理計画や適正な人員配置をすることで抑制を図る。・収納対策会議を開催して、各課の問題解決を図る。また、会議を年間2回開催する。						
	平成32年度	・総務課とも連携しながら定員管理計画や適正な人員配置をすることで抑制を図る。・収納対策会議を開催して、各課の問題解決を図る。また、会議を年間2回開催する。						
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)	
	経常収支比率	目標	(/)	(90%)	(88%)	(86%)	(-)	
		実績		96.20%				
	自主財源比率	目標	(/)	(20%)	(21%)	(22%)	(23%)	
		実績						
事業 成果 効果 等	①人件費や扶助費の抑制することで、効率的な財政運営を図る。②各課の問題点や課題を集約し収納対策会議を開催することで自主財源の確保を図る。							
⑧写真及び図面								